

TOEFL iBT チャレンジ支援事業（私立高校）実施要領

（趣旨）

第1条 この実施要領は、TOEFL iBT チャレンジ支援事業実施要綱（以下「実施要綱」という。）第10条に基づき、府の区域に所在する私立の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）及び専修学校高等課程（以下「私立高等学校」という。）に関する支援校の決定手続き等について定めるものとする。

（申請）

第2条 TOEFL iBT チャレンジ支援事業において、支援を受けようとする私立高等学校の校長等は、実施要綱第4条に規定する計画書（様式）を、教育庁私学課（以下「私学課」という。）に提出しなければならない。

（支援校の決定等）

第3条 府教育長は、前条の規定により計画書の提出があった私立高等学校の計画書の内容について審査し、予算の範囲内において、実施要綱第5条に規定する支援校及び支援額を決定し、その結果について支援校に速やかに通知する。

2 府教育長は、実施要綱第5条の規定による決定を行ったときは、速やかに別に定める大阪府私立高等学校等 TOEFL iBT チャレンジ支援事業費補助金交付要綱の定めるところにより、補助金の交付手続きを行う。

附 則

1 この実施要領は、平成28年6月16日から施行し、平成28年度の事業から適用する。

2 この実施要領は、平成29年5月19日から施行し、平成29年度の事業から適用する。

- 使用予定オンライン教材
TOEFL iBT 公式オンライン教材（個人向け模試）
http://www.cieej.or.jp/toefl/ets_shop/tpo.html

- TOEFL iBT 公式オンライン教材の主な特長
 - TOEFL iBT 本番と同形式の 4 セクションからなる問題形式
 - TOEFL iBT 受験前の模擬試験として活用可能
 - 4 セクション全てをテスト終了後採点（自動採点）
※実際の TOEFL iBT と一部採点方法が異なるため実力の目安としてください。
 - 問題を解くことができるのは一度のみ。セクションの途中でも、テストのどこでも中断することができ、次回はそこから再開できる。
 - 全セクション終了し採点が終了すると、Speaking セクション以外は何度でも問題を見たり音声を聞いたりすることはできる。また、この際、自分が選んだ解答と正解も画面に表示される。ただし、期間はテスト終了日を含め 180 日間に限る。

- 実施に必要な環境
 - <主に必要なもの>
 - インターネット接続のパソコン
 - E-mail アドレス
 - 音声入力・出力端子（ヘッドセット、マイクとイヤフォン、またはそれに代わる同等の機能のあるもの）
 - <必要システム>
 - Windows 2003/Vista/7/8
 - Internet Explorer 6.0 以上
 - Windows Media Player
 - Audio Capture Browser（ETS TPO サイトにて無料インストール可）